



発行所 国鉄労働組合盛岡地方本部
発行 齋藤庄司
編集 中堤聡司
TEL 019-622-5021
メールアドレス nrumori@poem.ocn.ne.jp

2010.8.10 第1424号

拡大キャッチコピー

「新しい仲間づくりを皆の力で」
「一緒に解消しませんか、あなたの疑問。
加入ってます」

地本組織・教宣部長会議

組織拡大、教宣活動との結合を

不採用問題解決を機に拡大に全力

地方本部は、7月31日「組織・教宣部長合同会議」を岩手労働福祉会館(盛岡市)で、各級機関代表者、地本役員など48人が参加の中開催した。
会議は、不採用問題の和解を中間点と位置づけ、職場での差別是正、公正・公平な人事運用、労務政策の抜本的転換かつ正常な労使関係確立に向けた新たな闘いの出発点、その原動力は組織の強化・拡大、教宣活動の強化・充実でありその意思統一を図ることを目的に開催され、一括和解後に一定の変化が見られる職場で、組織の拡大に向け教宣活動と結合しチャレンジ・アクションを起していくことを確認し終わった。

職場でアクションを起そう

会議は小林副委員長が座長に就任、齋藤委員長が、「JR不採用問題は最高裁で和解した。しかし、雇用問題が残っており、その解決に全力をあげよう。組織拡大、社員

は多くの不満を持っている。その声を吸い上げ、拡大に打って出よう」との挨拶で始まった。
次に伊藤東日本本部教宣部長(東京地本・柏駅)が、4



教宣部の取り組みをのべる中堤部長

「組織対策費の活用、他分会の状況は、一分会執行委員会定期開催に努力。助役(仙台地本)で国労組合員もいる流れが変わるのではという期待もある」などが報告された。
組織部長が「JRの若い社員、共闘組合員への国労の闘いの歴史を訴える資料など作成は検討する」、教宣部長は「情報を作成するという意識を持ち、まず連絡事項でいいので出そう」と答弁。
最後に佐々木書記長が、①一括和解後、変化が生まれている。変わらないという職場は、変えさせる取り組みが大切②職場では、限定運転士登用、単身赴任解消、テレホンセンターから車掌が元職場にの復帰など改善も見られる③こうした中で、新採と職場配

当面の主な日程

- 8月18・19日(埼玉) 東日本本部書記長会議
8月23日(盛岡) 岩手県交運労協幹事会
9月2・3日(埼玉) 第24回東日本本部定期大会

- 9月7日(盛岡) 第13回執行委員会・第12回闘争委員会
9月11日(盛岡) 地本エルダ1組合員交流会
9月14日(仙台) 第2回東北交運労協幹事会

属後の付き合いを大切に、ミドル・シニア層に不採用問題解決を機に復帰させる取り組みを進めていこう」とまとめ終わった。

阿部一男氏 2,207票

2位当選(花巻市議選)

参議選、吉田忠智氏が

社民党2議席目を確保



阿部一男氏 (63)



吉田忠智氏 (53)



斎藤憲雄氏の当選に向け 青森を中心に運動の強化を

組織内候補、斎藤憲雄氏(社民民主党公認・58歳)が4度目の当選に向け候補者予定の青森市議会議員選挙(定数41)が10月24日告示、30日投票で実施される。斎藤氏は、新幹線延伸、並行在来線問題などに取り組む同氏の当選にむけ、青森地区協を中心運動を強化していこう。

営業・車掌・構内から職場実態の報告

東北3地本60人参加で交流(運輸協議会)

国労東日本本部運輸協議会東北ブロック交流会が、7月25日・26日に盛岡市のつなぎ温泉「愛真館」で東北3地本から運送役員、分会代表者、来賓の含め60人が参加し開催されました。

会は、村上盛岡地方運輸協議会長の「12月4日青森新幹線開業となるが、在来線の青い森鉄道の問題も含め、未だダイヤ・要員等の提案もさだめられていない。職場の問題など

を分科会・交流会で話してもいい、有意義な2日間として貰いたい」との挨拶があり、齋藤盛岡地本委員長からの歓迎の挨拶、東日本本部運輸協議会の今福議長からエルダ1・出向会社との問題について、矢部同本部執行委員から情勢と問題提起を受け、分科別交流に入りました。

全体集会では、営業・車掌・構内の各座長から分科会の報告がありました。営業からは、「今月からPOCの交

換があったが、計画的な学習会や勉強会の設定」おとなの休日パスのあり方の一考を「サポーターセンターの設置」、車掌からは「チリ地震で発生した時の津波の異常時対応の取り扱いが運輸区毎に違う」「女性乗務員の要員・育児の問題点」、構内からは、「運転職場に若い人が入ってこない」「電子運動の機械が古くなってきている」「入換えや訓練などをビデオや写真に撮って次の世代へ残している」など、多くの意見や問題などが出されました。

これらの問題解決、組織拡大への取り組みを進める決意を込め、村上議長の団結ガンパローで終了しました。盛岡駅連合分会 小野寺俊彦

2,207票を獲得、阿部一男氏(組織内・社民民主党公認)が7月25日投票で実施された花巻市議会議員選挙で第2位、連続9度目の当選(大迫町などの合併後は3度目)を果たした。

阿部氏は、「誰でもが安心して暮らせる花巻」を基本に医療・福祉充実、平和憲法を市政に生かし、格差のない社会などを訴え選挙戦を精力的に展開した。

7月11日の投票で実施された第22回参議院選挙は、マスコミ報道にもあるとおり民主党の議席減という結果となった。

地方本部も承知の通り比例代表、岩手・青森・宮城選挙区で社民民主党公認候補を推薦し取り組んだところであり、比例代表で社民党が2,242,736票を獲得し2議席を確保、個人票を多く得た福島瑞穂党首と国労の推薦した自治労出身の吉田忠智氏が当選した。

なお、3選挙区での議席確保はならなかった。投票数は次の通り。

- 伊沢昌弘(岩手県) 54,989票
山田清彦(青森県) 23,803票
菅野哲雄(宮城県) 50,975票

23年の長期の闘いとなった「一〇四七名JR不採用問題」が6月28日、最高裁判所において裁判上での和解が成立した。「闘いを支えたものはJRに採用された国労組合員の存在である。自らも差別を受け続けながらも「組織を信じ、仲間を裏切らず、仲間を守る」その信念と想いは国労の貴重な財産・誇りと確信する」▼第79回定期全国大会(7月28日・29日開催)の中で、高橋中央本部委員長は組合員に感謝するとともに、闘争団員・家族の不屈の闘いに敬意を表し、また四半世紀にも及ぶ闘いをわが身のことと受け止めて惜しむことなく物心両面から支援していただいた23年の闘いを支援していただいた方々に、国労は7月に感謝と報告の「お礼文」を送付している。その返信が地方本部に多く寄せられ、皆々が「解決して本当に良かった」と安堵の文面であり、中には「私には物販購入しかできませんでした。そして老いたる毎に品数も少なくなり心苦しく思っておりました。私も今年で90歳となりました。皆様全員が晴れ晴れと毎日を生活できることを祈っています」と年齢を重ねながらも支援し続けていた暖かい言葉が綴られていた▼長期に渡り支援していただいた共闘組織などの皆様には感謝の言葉しかない。残された雇用問題解決に向けた運動を積極的に取り組み、不採用問題を解決に導いた経験を糧として「国労の貴重な財産と誇り」を継承し、多くの支援者に恩返しするためにも、今こそ組織拡大に奮闘することが求められている(小)

JR不採用問題
青森・八戸地区報告集会

雇用問題にあと少しの支援を

杉山均さん夫妻(音威子府)が感謝と報告

「JR不採用問題青森県報告集会」が青森支部主催で7月14日18時から青森労働福祉会館において共闘の仲間含め87人の参加者の中で開催され

ました。集会では、国鉄闘争青森県支援共闘会議をはじめとした各支援団体に向け、6月28日に最高裁で和解に至った経緯の説明と、これまでの

支援に対するお礼が、音威子府闘争団の杉山さん夫妻から述べられました。

最初に主催者を代表し阿部青森支部委員長は「やっとな政治解決の最終段階までたどり着いた。この間の平和労組に結集する各単組、社民党をはじめとした皆さんのご支援にお礼を申し上げます。まだ、雇用の問題が残されているが、国労の総力を結集して解決に取り組んでいきたい」と最終局面での決意を訴えました。

来賓の米沼一夫県平和労組会議事務局長、渡辺英彦社民民主党青森県連合代表から連帯の挨拶を受けた後、齋藤地方本部委員長が今日までの闘いへの支援に対するお礼の挨拶を述べました。その後、国労議員団を代表し民営化当時

の支部委員長・書記長を務めた奈良岡県議は「支援共闘会議立ち上げのため走り回った日を、昨日のことのように思い出す。毛ガニ販売に協力を

頂き、六回のねぶた招待が実現できたのも、皆さんのご支援があったからこそ。引き続きのご支援をお願いしたい」と闘いを振り返り参加者に感謝と支援を要請しました。

次に音威子府闘争団の杉山均事務局長が挨拶に立ち「皆さんのご支援をうけ、やっとな政治和解を実現できた。しかし、雇用の問題は、来年3月末までに政府がJR各社に要請することになっており、現状では不透明。今一度、解決に向け闘い支援をお願いしたい」との気持を述べました。

翌15日18時から、八戸駅東口のユートリール8階で同様の「八戸地区集会」が共闘の仲間と組合員ら89人の参加者を得る中で開催されました。



＝今、少しの支援をと訴える智子さん＝

共産党、交運労協、共闘会議、連帯する会などのみなさんを迎え、昨々までの解決が出来るのかどうか、先の見えない中でのあいさつと違



青森対盛岡で試合開始 (A面)

第10回地本ソフトボール大会

三沢・八戸チームが3年連続で4度目の優勝

好天の中、4チーム参加

7月19日、第10回地本ソフトボール大会が好天の中、例年通り岩手県雫石町の鶯宿野球場で4チーム、関係者あわせ約80

人が参加し開催された。残念ながら北上チーム、宮古・釜石地区チームが参加が諸般の事情で参加できなかった。

9時過ぎから各チームと関係者がそれぞれ車に到着、審判団と関係者でグラウンドを整備し、40分からのキャプテン会議で対戦相手を決定、開会式を行いA・B面に分かれ試合に入った。試合は、1時間以内5イニングまで、同点の場合は9人のジャンケンで決定との確認が進められた。

各チームの選手は暑い中、自チームの勝利を目指し打撃走塁、守備に全力をあげるも体力が？ベンチからは野次と笑いが飛び交い、和やかな雰囲気の中での試合となった。

優勝は今年も三沢・八戸チームで3年連続となった。

7月28、29日の両日、静岡県伊東市・ホテル聚楽に於いて、第79回定期全国大会が開催された。

今日大会は、雇用問題が残るものの、24年という長きにわたる「1047名JR採用差別問題」が解決をした直後の大会であり、内外から注目された大会となった。

高橋委員長長の「1047名JR採用差別問題は、雇用の確保の問題が残るものの解決案の受諾を決定し、裁判上の和解が成立し裁判は終了した」のあいさつで始まった大会は、来賓に民主党、社会民主党、日本

共産党、交運労協、共闘会議、連帯する会などのみなさんを迎え、昨々までの解決が出来るのかどうか、先の見えない中でのあいさつと違

がほとんどだった。しかし、全面解決と勘違いしていた訳ではないが、国鉄闘争に勝利する共闘会議の二瓶議長長の「1047名JR採用差別問題

解決、雇用の確保を勝ち取るまで頑張ろう」という言葉と、国労弁護団の宮里弁護士からの「事件は解決したが、問題は解決していない。残る

国大会であった。大会を通して出された各代議員からの「1047名JR採用差別問題」解決に対する喜びの言葉と同時に、ここは国労の良いところか悪いところか分からないが、議論に於いても案外クルに、残る雇用問題をどう解決して行くか、また、組織拡大・強化、後世の組合員に何を残すか、残せるかが今後の国労の取り組み課題であるとの意見が多数あり、新たな一歩を踏み出した大会であったと思う。

（全国大会代議員）
気仙沼地域分会 熊谷泰幸

個人賞
最優秀選手賞 地切 彰 (三沢・八戸)
優秀選手賞 成田 芳隆 (青森)
敢闘賞 佐藤 祐司 (盛岡)
日野 雅善 (一関)

新たな一歩、身の引き締まる思い

第79回定期全国大会(伊東市)

い、終始「1047名JR採用差別問題の解決」に関し、解決したんだ、出来たんだと言う感動の、それぞれの熱い思いが交錯するあいさつ

題は、今の執行部でなければ解決は出来なかつた。しかし、私から言わせれば、この問題は解決の半分までしかきていない。路頭に迷わない

雇用問題が解決出来て、やっと「1047名JR採用差別問題」が解決したことになる」と言う言葉には身の引き締まる思いがした初めての全

大会であった。大会を通して出された各代議員からの「1047名JR採用差別問題」解決に対する喜びの言葉と同時に、ここは国労の良いところか悪いところか分からないが、議論に於いても案外クルに、残る雇用問題をどう解決して行くか、また、組織拡大・強化、後世の組合員に何を残すか、残せるかが今後の国労の取り組み課題であるとの意見が多数あり、新たな一歩を踏み出した大会であったと思う。

（全国大会代議員）
気仙沼地域分会 熊谷泰幸

個人賞
最優秀選手賞 地切 彰 (三沢・八戸)
優秀選手賞 成田 芳隆 (青森)
敢闘賞 佐藤 祐司 (盛岡)
日野 雅善 (一関)

個人賞
最優秀選手賞 地切 彰 (三沢・八戸)
優秀選手賞 成田 芳隆 (青森)
敢闘賞 佐藤 祐司 (盛岡)
日野 雅善 (一関)

個人賞
最優秀選手賞 地切 彰 (三沢・八戸)
優秀選手賞 成田 芳隆 (青森)
敢闘賞 佐藤 祐司 (盛岡)
日野 雅善 (一関)

10月期加入・増口案内

期末手当付加給付制度

〈掛金徴収〉

・2010年10月から

〈給付発生〉

・2011年夏季手当減額分から

〈期間率調査期間〉

・2010年10月1日～
2011年3月31日

〈問い合わせ先〉地本互助会

TEL (JR) 033-2276
TEL (NTT) 019-652-4841

地本互助会だより

万が一にそなえよう

自分と家族のために

期末手当付加給付制度

互助会の「期末手当付加給付制度」は、病気等の欠勤で期末手当に期間率が適用となつて減額された組合員の生活保障をするための制度です。

2002年の制度発足以来、現在313名の方が加入されており、
また、今日まで病気休業等で63名の組合員の方が手当から減額され、この制度からは約700万円の給付金をお支払いし、組合員・家族への生活保障の手助けの一躍を担うことができたかと思ひます。

是非、この機会に、もう一度身の回りを考え、今制度に加入されますようご案内と致します。

〈給付金〉

期間率1日につき、1口1,000円給付。

〈互助会加入が条件〉

9月15日迄に手続きを

「期末手当付加給付」の加入資格は、現行互助会に加入されている組合員となりますので、互助会未加入者で「期末手当付加給付制度」の加入を希望の方は互助会加入の手続きが必要となります。

「互助会」及び「期末手当付加給付制度」の加入手続きは、9月15日まで分会担当者または、互助会事務局へ直接電話で加入の申込みをして下さい。